

# 横浜北地区大会

主催 神奈川県立高等学校PTA連合会横浜北地区協議会  
後援 神奈川県教育委員会  
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会

1日 時 令和4年10月8日(土) 13:00~16:20

2会場 元石川高等学校 視聴覚教室

3参加者数 101名 うちオンライン参加46名

4日程(次第)

## (1) 開会式

①開会の言葉	神奈川工業高等学校PTA会長	菅野 敏弥
②主催者挨拶	元石川高等学校PTA会長	村田 広美
③会長校校長挨拶	元石川高等学校長	勝股 正
④来賓紹介及び挨拶	神奈川県立高等学校安全振興会	小宮 龍一

## (2) 提案発表

### ①提案発表Ⅰ 城郷高等学校

「出来る時に、出来る人が、無理なく楽しく!~コロナ禍を体験して~」

### ②提案発表Ⅱ 白山高等学校

「白山高校の 穴窯 陶芸を中心として地域交流とPTA活動」

### ③質疑応答

- ・城郷高校の駅周辺における見守りはどのようにしているのか。  
→公共交通機関のためできることには限りがあるので、何ができるかを  
これから模索していく。

### ④助言者講評

四つの委員会に共通しているのは、一つはコロナ禍で得た気づきを新しい活動に結びつけていく姿勢、もう一つは、保護者目線、学校だけでは気付かない、PTAだからこそその目線を大切にしているところである。そしてなにより、4つの委員会同士のパイプ役、サポート役となる本部役員会の役割の重要性も痛感させられた。

コロナは、各単位PTAにだけでなく、学校にとって、大変大きなピンチだったが、城郷高校PTAは、このピンチは、新しい何かに変えるいいチャンスだと教えてくれた。元石川高等学校長 勝股 正

学年、広報、成人、環境整備・交通安全と各委員会とも様々な活動をされていた。体育祭の給水での生徒支援、校内・校外清掃で生徒と一緒に活動されるとともに、美術科という学校の特色ある学科と連携した陶芸教室の開催等の状況が良くわかった。PTA活動の一番は、生徒の支援だと考えている。コロナ禍で様々な活動が制約される中で、PTAの皆様方が、各校の状況に応じて工夫をした取組みをされており、学校の教育活動も含め、これまでの活動を見直すきっかけになったと考える。

今後も、生徒の支援を第一に考え、持続可能な PTA 活動に取り組んでいければと思う。 神奈川工業高等学校長 片受 健一

(3) 休 憩

(4) 分 科 会 (ZOOM 会議併用)

1 副会長会 2 学年委員会 3 成人委員会 4 広報委員会

(5) 閉 会 式

①閉会の言葉

神奈川工業高等学校 PTA 会長

菅野 敏弥